

くすりのしおり

外用剤

2023年01月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ドルモロール配合点眼液「わかもと」

主成分：ドルゾラミド塩酸塩 (Dorzolamide hydrochloride)
チモロールマレイン酸塩 (Timolol maleate)

剤形：無色澄明のわずかに粘稠性のある点眼剤、5mL、(キャップ) 橙色

シート記載など：



この薬の作用と効果について

炭酸脱水酵素を阻害する作用とβ受容体を遮断する作用の2つの作用によって房水の産生を減らすことにより、眼圧を下げ、緑内障による視野の悪化を抑えます。

通常、緑内障、高眼圧症の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。気管支喘息またはその既往歴、気管支痙攣、慢性閉塞性肺疾患、心不全、洞性徐脈、房室ブロック、心原性ショック、糖尿病がある。腎障害、肝機能障害がある。眼内手術の既往がある。コンタクトレンズを使用している。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1滴、1日2回点眼します。必ず指示された点眼方法に従ってください。
- ・容器の先端が直接目に触れないようにしてください。
- ・点眼後は、しばらく（1～5分間）まばたきをしないで目をつぶってください。
- ・点眼のとき、液がまぶたなどについた場合には、すぐにふき取ってください。
- ・他の目薬と併用するときは、5分以上の間隔をあけて点眼してください。
- ・点眼し忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く点眼してください。ただし、次に点眼する時間が近い場合は点眼しないで、次回より指示どおりに点眼してください。2回分を一度に点眼してはいけません。
- ・誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、点眼するのを止めないでください。

生活上の注意

- ・授乳中の方は、この薬を使用している間は授乳を中止してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼刺激症状（しみる）、角膜炎（眼痛、見えにくい、目の異物感）、結膜充血、霧視（かすむ）、徐脈（脈がおそい）、失神、頭痛などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・眼の異物感、眼痛、結膜充血 [眼類天疱瘡]
- ・息切れ、息苦しい、喘鳴（ヒューヒュー音） [気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全]
- ・呼吸困難、意識消失、立ちくらみ [心ブロック、うっ血性心不全、脳虚血、心停止、脳血管障害]
- ・発熱、顔の紅斑、光線過敏症 [全身性エリテマトーデス]
- ・発熱、全身倦怠感、粘膜の発赤・びらん、紅斑 [皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・添付の投薬袋に入れて保管してください。
- ・開封後1ヵ月が経過し、薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。